

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和2年9月17日(木曜日)

午前10時00分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時34分 散会

付託事件

議案第133号中第2表継続費補正

1 本日の会議に付した事件

(1) 議案審査

① 議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算(第5号)中第2表継続費補正

2 出席委員(6名)

| | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 大津亮一君 | 副委員長 | 森正慶君 |
| 委員 | 田口文明君 | 委員 | 黒木勇君 |
| 委員 | 渡辺政明君 | 委員 | 栗原文隆君 |

3 欠席委員(1名)

委員 内藤丈男君

4 委員外議員出席者(1名)

議長 安藏栄君

5 説明のため出席した者の職、氏名

| | | | |
|--------------|--------|--------------|-------|
| 産業経済部長 | 鈴木吉昭君 | 産業経済部参事 | 川崎幹男君 |
| 産業経済部参事兼商工課長 | 長谷川昌人君 | 産業経済部技監兼農政課長 | 深澤和広君 |
| 観光課長 | 小林一仁君 | 農業環境整備課長 | 三村隆君 |
| 農産振興課長 | 後藤俊之君 | 公設地方卸売市場長 | 武田和馬君 |
| 消防長 | 小泉直紀君 | 消防次長 | 大内康弘君 |
| 消防本部参事 | 小林光宏君 | 消防本部参事兼救急課長 | 石田宏一君 |
| 北消防署長 | 勝村俊則君 | 南消防署長 | 青木剛君 |
| 消防総務課長 | 箕輪重美君 | 火災予防課長 | 櫻井祐一君 |
| 消防救助課長 | 植木和弘君 | | |

農業委員会 横山英雄君
事務局 長

農業委員会 吉川正浩君
事務局 次長

6 事務局職員出席者

書記 大内しおり君

書記 島田祐輔君

午前10時 0分 開議

○大津委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

さきの本会議において、本委員会に付託されました案件は、議場で配付されました議案審査分担表(1)のとおり、議案第133号の1件であります。

それでは、審査の進め方について、お諮りします。委員会の審査日程が2日間となっておりますので、本日はまず、執行部に提出議案の説明を求め、次に質疑を行いまして、明日、御意見等を伺った後、採決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより執行部から提出議案の説明を願います。

なお、執行部から補正予算関係資料の提出を受けておりますので、御了承願います。

それでは、議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算（第5号）中第2表継続費補正について、執行部から説明願います。

箕輪消防総務課長。

○箕輪消防総務課長 それでは、議案書①の21ページをお開き願います。

議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算（第5号）中第2表継続費補正について、御説明をいたします。

24ページをお開き願います。

第2表継続費補正につきまして、御説明いたします。

説明につきましては、議案書②の令和2年度補正予算に関する説明書により御説明をさせていただきます。

恐れ入れますが、議案書②の18ページ、19ページをお開き願います。

継続費の調書の第9款消防費、1項消防費、3目消防施設費の南消防署移転改築事業につきましては、令和3年度、令和4年度の年割額をそれぞれ1億円増額し、継続費の総額を2億円増といたしまして、補正後の事業費総額を1億2,000万円として実施するものです。

補正の内容につきましては、消防総務課提出の資料にて御説明いたします。

令和2年度補正予算関係資料を御覧願います。

事業内容について、御説明をいたします。

1の建設地につきましては、裏面2ページの案内図と配置図を併せて御覧願います。

建設地は、水戸市元吉田町532-1ほかで、2ページ右下の案内図を御覧いただきまして、水戸南高校と市立白梅保育所の隣接地でございます。敷地面積は3,365.03平方メートルであります。配置図中央の計画建物は消防庁舎で、庁舎南側、図面上左側に訓練スペース、庁舎北側に付属棟を配置してございます。

1ページにお戻りいただきまして、2の施設概要といたしまして、構造は鉄筋コンクリート造り3階建てで免震構造でございます。延床面積は2,055.92平方メートルであります。

3の補正の理由でございますが、実施設計業務委託が令和元年度で完了せず、本年度に繰越しとなりましたことから、3月議会に提出した当初予算は、概算設計により計上いたしましたものでございます。このたび、実施設計が完了いたしましたことから、これに基づき継続費の補正を行うものでございます。

概算設計と実施設計の差異の主な要因につきましては、まず、(1)の地質調査結果による基礎工事の見直し及び山留工事の見直しでございますが、予算においては、近隣の地質調査結果を参考に工事費を算出したところでございます。その後実施いたしました地質調査の結果から、用地西側ののり面の強度が、当初の想定より弱いことが判明いたしました。このことから、擁壁や建物の基礎にさらに強度が必要となり、杭やコンクリート躯体の増加となっております。

(2)の仮設工事の見直し(敷地形状によるタワークレーンの追加)でございますが、詳細な仮設計画を検討した結果、タワークレーンの設置や追加の山留工事が必要となっております。

以上が主な要因でございます。

次に、4の継続費補正の内訳でございますが、南消防署移転改築事業につきましては、令和2年度から令和4年度までの3か年継続事業として実施する予定でございます。継続費の補正による年割額でございますが、令和2年度は2億8,000万円に変更はございません。令和3年度、令和4年度の年割額を各年度1億円ずつ増額し、合わせて2億円の増額補正を行うもので、継続費の総額は1億4,000万円から1億6,000万円に変更となっております。

説明は以上でございます。

○**大津委員長** 以上で提出議案についての説明は終了しました。

それでは、これより質疑を行います。

議案第133号 令和2年度水戸市一般会計補正予算(第5号)中第2表継続費補正について、質疑のある方は発言を願います。

渡辺委員。

○**渡辺委員** 今、議案第133号について、詳細を聞かさせていただいたところですが、二、三、ちょっとお伺いしたいことがあります。

この議案なんですけれども、御案内のように、3月から所管がこちらの委員会に移ったということで、資料の補正の理由の中に、3月議会に提出した予算は概算設計によるものであったということが記されておりますが、この概算設計に至るまで、前の文教福祉委員会で、しっかり審議をしたと聞いております。それが実施設計になったら、2億円増えたというような流れだと思います。我々も最初のところで議論をしたりしておりませんので、そういう流れになったという前提で、二、三、ちょっと聞かせていただきたいと思うんですけれども。

今回、南消防署は最新の機能を備えたのだと思うんですね。そこでちょっとお伺いしたいのは、消防ですから、防災とか耐震とか、一番きっちりできていないといけないということは常識的な話であって、それに伴う追加の山留工事とか、そういうものになってくるかと思うんです。今回の南消防署については、地震等の災害への備えというのは、しっかりできているんですか。

○**大津委員長** 箕輪消防総務課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの渡辺委員の御質問の件でございます。

今回の移転改築の基本方針といたしましては、高い耐震性を有する建築構造としまして、免震構造を取り入れております。消防活動における出動態勢及び災害対応の強化を図るところもございまして、災害時にインフラが停止した場合でも独自に起動する自立インフラ、そういった設備等を備えて、最新の機能とすることを目指してございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 今、力強い御答弁をいただいて安心したところです。30年以内に大きな、いわゆる東日本大震災級の地震が起こると言われております。そういうときに率先して、そういった機能を市民のために発揮しなくてはならないという場所なので、まずそれを聞いて安心いたしました。

それと、もう一つ、山留工事の見直しというのがありますよね。これは、やはり擁壁にコンクリートか何かを打ち込むんですか、セメントとか何か。そういう工事になるんですか。

○大津委員長 箕輪課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの御質問の件でございますが、山留工事につきましては、西側ののり面の強度が不足しているということで、一旦、山留矢板で行ったものに、さらにアースアンカーというものを打ってという工法を追加で行いまして、そこでのり面を抑えながら、擁壁と基礎を一体で工事するという工法を取る予定でございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 このところの台風とか、いろんなものを見ると、土砂崩れ等もやはり今、日本は非常に多く、特に大事な場所なのでね、木を抜いちゃったりして土砂が崩れちゃったなんていったら、それこそ笑いものになっちゃいますんで、こういう工事もしっかりとやっていただきたいということでございます。

それと、先ほどもちょっと申しましたように、我々は、昨年まで消防のほうとの関わりはなかったんで、伝え聞いた話で質問させていただくと、例えば今、南消防署のほかにも北消防署とか、中央本部とかあると思うんですけども、救急救命士さんの待機所とか、そういうところの環境があまりよくないなんていう話を、いや今はちょっと分かりませんが、たまに聞くもんですから。今回の南消防署においては、そういう待機室とか宿直室とか、様々な厚生施設があるかと思うんですけども、そういうものについては最先端のかな。どういう内容になっているのか、ちょっとお聞かせください。

○大津委員長 箕輪課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの御質問の件でございます。

今回の南消防署の移転改築に合わせまして、庁舎も待機や仮眠といった用途のスペースがございます。消防署は、署員が24時間待機いたしますので、現在の南消防署の準備室と仮眠室を全面的に見直しまして、余裕のあるスペースを取ってございます。

それと、女性の職員なども今後増えてまいりますので、そちらの専用スペースなども設けてございます。

以上でございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 今回のコロナ禍を見ても、救急車の出動をはじめ、様々な活用がされてきたという中で、やは

りそこで働く人たちの環境をしっかりと整えてあげるといことは、一番大事なところだと思いますので、今のお話を聞いて一つ安心いたしました。

私も今まであまり研究していなくて、これとって聞くようなことがないんで、今後、この活用等について、いろいろご意見等を述べさせていただきたいというふうに思っております。

したがいまして、私は、議案第133号については、賛成をしていきたいというふうに思っております。以上です。

○大津委員長 ほかにございませんか。

黒木委員。

○黒木委員 今、渡辺委員からもありましたように、文教福祉委員会のほうで審議されてきた案件ということでスタートされておりますので、ちょっと根本的な部分で、まず1点質問させていただきたいんです。

そもそも、この南消防署の移転が必要になったというのは、根本的には今の施設が老朽化しているという部分があって、今回、2億円の補正を組んで、タワークレーンとか地質調査の結果の山留工事見直しとか、工事が2億円分追加になったという中で、いち早くこの新たな場所に施設を建設して引っ越して、安全に業務を遂行したいという思いからのこういう計画だと思うんですが、この工事期間が延びていっちゃうというところが、私の一番心配するところなんです。

そもそも、現在の南消防署、例えば、先ほど渡辺委員からもありましたけれども、茨城県沖を中心とした大きな地震が9割ほどの高い確率で早い時期に起きるといことも発表されている中で、今の南消防署というのは耐震化がされているのか、大丈夫なのかといところを、まず最初に確認させていただきたいと思ます。

○大津委員長 箕輪課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの黒木委員の御質問の件でございます。

現在の南消防署につきましては、平成24年度に耐震調査を実施いたしまして、1階の一部にやや不足の部分があるという結果が出てございます。（※令和2年9月18日の産業消防委員会で訂正）1階は車庫スペースと受付がございまして、その一部に数値の不足があるという結果が出てございます。

以上でございます。

○大津委員長 黒木委員。

○黒木委員 早く新しい施設に移っていただいて、市民の安全を守っていただくということが重要だといことでもよろしいんですね。今、南消防署庁舎自体の耐震強度が不足しているといことでもありますので、急いでいると。今回の計画、当初の予定では、令和4年度までの計2億円の補正予算を組みながら、令和5年度には稼働していきたいと、使用していきたいといことでもよろしいんですか。

○大津委員長 箕輪課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの御質問の件でございます。

事業のスケジュールといたしましては、今年度中に着工いたしまして、令和3年、4年度中が本体工事といところでございます。ですから4年度中の末に開所か、5年度当初かといところは、まだこれからのことなんですけれども、そのようなスケジュールで事業を進めていく予定でございます。

○大津委員長 黒木委員。

○黒木委員 分かりました。

今、答弁ありましたけれども、とにかく、この計画では、令和4年、令和5年という部分で、時間の猶予はないということですので、しっかりと進めていただきたいのですけれども、2億円という非常に大きなお金でありますので、その辺は私としては、しっかりと審議させていただきたいと思います。

その上で、いただいた資料の中で、実施設計の業務委託が完了して、3月議会に提出した当初予算は概算設計により計上したが、今回、実施設計になりましたとあります。これは同じ業者さんが担当しているんですか。

○大津委員長 箕輪課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの御質問の件でございますが、設計につきましては、基本設計、実施設計、いずれも同一の業者が行ってございます。

以上でございます。

○大津委員長 黒木委員。

○黒木委員 その中で、西側の地面が緩かったと、隣にスーパーマーケットや白梅保育所が建っているこの土地というのは、もともと谷のような土地、地形をしていたというのは知っています。そこに土を入れていたというのも。私は元吉田に住んでいるので分かりますし、田口委員も元吉田に住んでいるので重々承知されているかと思いますが、非常に急傾斜地というか、そういうところに今回の計画の土地がありまして、あそこを通るたびに思うんですけれども、すごく狭いんですね。この狭くて谷があった土地に建設していくというのは大変だろうなと思って見ていたんですが、文教福祉委員でなかったのが、詳細な議論には入っていないんですけれども、そういう中で、今、概算設計と実施設計、同じ業者さんだったということですが、それが分からなかったということで、今回追加工事になったのかなと思うんです。

先ほど山留工事の見直し、タワークレーンの設置という説明もありましたけれども、補正予算2億円の概要、こういう工事をやっていきますというのをもう少し説明していただけないでしょうか。

○大津委員長 箕輪課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの御質問の主な追加工事の内容でございますが、まず、山留工事から御説明します。これは矢板というもので土留めするんですが、当初より土留めする面積が広がっています。数値的には当初、約1,080平方メートルでしたが、約1,330平方メートルに増加しています。それに合わせて、掘削の土量も増えてございます。それと、先ほど申しましたアースアンカー工事というのが、矢板を押さえるものでございますが、こちらものり面に穴を開けて基礎を中に作成して、ワイヤー何本かで土留めの矢板を固定するという工法を新たに追加してございます。

基礎のコンクリート杭の工事でございますが、こちら、まず、杭の太さが太くなり、さらに本数も増えてございます。当初、1,000ファイで長さ11メートルのもの4本が、1,200ファイで長さ11メートルのものが15本、さらに900ファイで長さ11メートルのものが12本で、こちらは6本に減じてございますが、太いものが増えたというところでございます。それと、仮設工事のほうでトラッククレーンに追加して、タワークレーンを設置するというところが、主な追加の部分でございます。

以上でございます。

○大津委員長 黒木委員。

○黒木委員 今説明していただいたのですが、地図自体も小さく、ふだん私も眼鏡をかけていて目が悪くなってきましたので、ちょっと読み取れない部分もあります。言葉では書いてあるんですけども、非常に図面自体が分かりづらいので、できたら委員長に諮っていただきたいんです。今説明のあった追加工事の内容について、図面も黒く小っちゃいのじゃなくて、もうちょっと工事内容が分かる図面を明日で結構なんですけれども、資料として出していただけないかなという思いがありますので、お願いします。

[発言する者あり]

○大津委員長 では、お諮りします。今回、追加で2億円という大きなお金が出ていますので、その部分に関してはもう少し確認できる資料をいただきながら、精査させていただきたいと思います。

それでは、ただいま黒木委員から請求のありました追加工事の内容、建物の位置など、今までの資料等を含めて、詳細な部分を委員会として執行部に対し、提出を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○大津委員長 それでは、明日の委員会に提出をお願いいたします。

ほかにございますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○大津委員長 それでは……

[発言する者あり]

○大津委員長 明日、一部残してということで、今日のところは、質疑を終了します。

それでは、本日の委員会……

[発言する者あり]

○大津委員長 じゃ、提出議案についての質疑は、今日は終わりにしますが、今、渡辺委員のほうから、本会議の袴塚議員の代表質問で消防局の話が出ていたことについて、発言を求められておりますので、それに関してよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ声あり]

○大津委員長 御異議なしと認め、発言を許します。渡辺委員。

○渡辺委員 さきの代表質問で我々の委員会の所管である消防本部が局になると、消防局にすべきじゃないかという話があって、答弁のほうは市長がお答えになったんですけども、中核市、また政令指定都市を見ても、ほぼみんな局になっていますよというお話だったと思います。

消防局になってということなんだけれども、内容はどうなのと。いわゆる活動内容とか消防力とか、そういうものに変化があるんですかということ、実は聞きたかったんですよ。この間の話だと、着ているものをただ変えただけで、中身はあんまり変わりませんよというような、ちょっと細かく聞いていなかったんですが、そういう雰囲気があったんです。消防局になった場合、どのような変化があるのか、その辺のところ、それが現時点で分かっていたら、さらにもう一步踏み込んで、お聞かせいただきたいというところがございます。

○大津委員長 箕輪消防総務課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの渡辺委員の消防局への名称変更についての御質問でございますが、まず、ただいま委員からお話がありましたとおり、全国を見ますと、政令指定都市20市、それと中核市のうち、政令指定都市につきましては20市全て、中核市は6割が消防局という名称を使用しています。

水戸市も、本年4月に中核市に移行いたしまして、現在、備えている消防力が中核市の中で比べましても、決して劣っているものではないと、中核市としてふさわしい消防力を有している組織でございます。そのため、この機会を捉えまして、消防本部から消防局への名称変更というところでございます。

その効果という点でございますけれども、まず消防局といいますと、規模の大きい消防機関というイメージがございますので、水戸市民の消防に対するイメージが向上するのではないかと考えます。要は、政令指定都市並みの消防力ということアピールしながら、市民の安心感や信頼感の向上につながるのではないかとこのところではございます。

それともう一つ、本市消防の全国的な知名度、イメージアップです。私どもも県外へ出ますと、水戸市の消防局さんと普通に呼ばれる場面が多くございます。うちはまだ消防本部でございますから、内部にいる限りは、そういうところは感じないんですけども、全国的に見るとやはり中核市であり、県庁所在地と申しますと、消防局というイメージを持たれるところでございますので、全国的な知名度、イメージアップというところも一つ考えてございます。

あとは、職員の責任感であったり、士気、使命感といったものが向上すると考えます。茨城県に1件だけの消防局でございますし、それだけの組織力もあるということで、名称を変更することによって、職員の責任感や士気などが向上するのではないかとこのところではございます。

以上でございます。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 丁寧ありがとうございます。

消防局になったら、茨城県で初めてということですよ。つくば市と水戸市が、今非常に競合している部分もたくさんあるんでね、やはりそういう中では一歩先んじたということで、恐らく消防職員さんにとっても、本当にやりがいとか、そういうものにつながってくるのかなというふうに思っております。

それで、これはいつから始まるんでしたっけ。この間、話をちょっと聞き漏らしちゃったんですけども、来年の4月1日からなのかな。

○大津委員長 箕輪課長。

○箕輪消防総務課長 ただいまの御質問の件でございます。

まず、名称変更に必要なプロセスといたしまして、行財政改革調査特別委員会にお諮りいたしまして、議論を重ねていただきまして、議案提出に至るかと思っておりますので、そういった流れで進めてまいりたいと思っております。

○大津委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 議論も大切だと思うんですけども、スピーディーに進めていただきたいというのが、私の個人的な考えなんです。やはり真の目的は、局への格上げによって消防力が向上したり、また市民サービス

が向上するというのが、私は目的の一つであるかと思うんですね。

ですから、やはりスピード感を持って、ぜひ取り組むようお願いしたいなという要望です。

○**大津委員長** この件に関して、ほかにございませんか。

ないようですので、この件について終わります。

それでは、本日の委員会は、この程度をもって散会したいと思います。

なお、明日の委員会は午前10時に開会したいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時34分 散会